

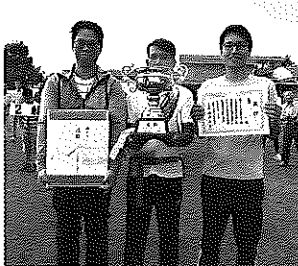
ハ乙女



第42回 南山見地区 体育祭

空高く秋の訪れ思ふ時
栗のいががすかに落ちる音する

松田 澄子



第42回 体育祭成績

種目	1組 赤	2組 白	3組 水色	4組 ピンク	5組 黄	6組 緑	
満水レース	3	2	4	6	5	1	
明日に向かって ゴール⑥	12	10	6	8	2	4	
防炎バツリレー	6	2	3	1	5	4	
でたとこ勝負	1	2	4	3	6	5	
八文字とび⑥	6	2	12	8	4	10	
一心同体	4	3	2	1	6	5	
ボール送り レース	6	4	3	1	5	2	
玉入れ 1回目	2	3	1	4	6	5	
玉入れ 2回目	5	3	2	1	4	6	
得点	45	31	37	33	43	42	
順位	1	6	4	5	2	3	
町内名	院瀬見四区	院瀬見三区	連清東 代玄城 寺寺寺	志南山 山見新 谷寺	川里戸 原 嶺板	院瀬見二区	沖

第四十二回南山見地区体育祭

五組監督 高橋悠太

第四十二回南山見地区体育祭にて、私たち五組が優勝をいたしました。いつ以来かと過去の実績を紐解きますと、実に約十年ぶりの優勝杯獲得でした。

人数が決して多くない中、参加の皆様には無理を押しして何度も競技に出させていただきました。そのような中で、ベテランのねばりにうまく若い力が加わり、勝つことができたと思います。五組の皆様、役員の皆様に感謝申し上げます。また、こうした結果が出せたのも、各種目を競い合い切磋琢磨した他組の皆様のおかげです。南山見地区の健康増進のためにも、来年も積極的に優勝を目指します。

温故知新「地域誌」をつくる

ふるさとの歴史文化調査委員会委員長 富田利通

このたび、委員長を仰せつかりました富田です。浅学非才の身ではありますが、精一杯努めたいと存じます。よろしくお願いいたします。

さて、本年四月、地区住民による地域づくりをめざす「南山見地域づくり協議会」が設立されました。地区にとっては、先例なき挑戦。正に新しい時代がスタートしたと言えます。一方、昔を顧みると、奇しくも、今年には南山見村ができて一三〇年、南山見小学校が閉校して五〇年という節目の年でもあります。

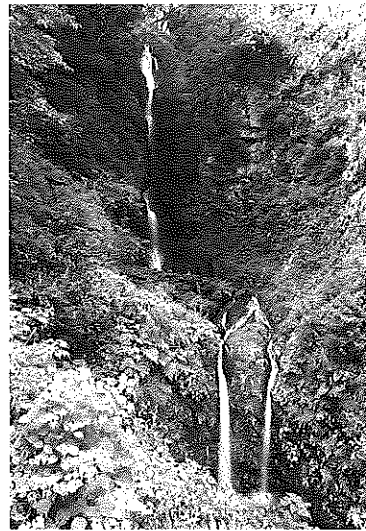
論語の一節に「温故知新」という言葉があります。今日、こうして私たちがいられるのは、ふるさとの先人の努力の積み重ねのお陰であり、先人らが、その時々々の情勢の中で、いかに課題に立ち向かい、汗と知恵を絞り、地区の振興に努めてきたか、そのあゆみに学ぶことが、今、改めて求められているように感じます。本委員会は、まちづくり部会の下部組織として、南山見地区のあゆみ（「南山見地域誌（仮称）」の編纂をめざし、去る九月に、二十三名の委員で立ち上げたものです。目的等は次のとおりです。

○目的

- ・先人が育んできた郷土愛や地域づくりの足跡を辿ることで、新時代の地域づくりの勇氣と視座を得る。
- ・地区住民のふるさとに対する一層の理解とその愛する心の醸成を図り、また、子供たちのふるさとへの誇りと愛着を育み、そのことで地区の歴史が後世によりよく受け継がれていくことを期待する。

○方針

- ・できるだけ図版や写真を取入れ、読み易いものにする。
 - ・「各集落のあゆみ」も盛り込む。
- 最後に、『地域誌』の編纂は、故きを温ねる旅であり地区の生きた史そのものを掘り起こす作業でもあります。史資料の提供や取材等、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



南山見地区自然の象徴 不動滝

ふるさとの歴史文化調査委員

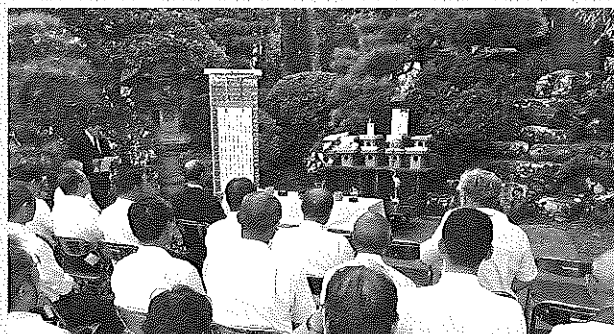
- 夫志範明子修一之彦子太
 一豊泰泰澄 秀達好律悠
 中田井崎田田田 井 橋
 田富松岩池長亀森確林高
- 一志通昭秀子代子春大枝夫
 昌博利一義智喜真良 光昭
 川田田中本上江嶋田川 橋
 才松富田山井直中片須銅小

南山見忠魂碑慰霊祭

南山見忠魂碑維持会 庶務 高橋悠太

八月十五日(木)、

谷の南山見忠魂碑前庭にて「南山見忠魂碑慰霊祭」が執り行われました。台風十号の接近による風雨の影響が懸念されていましたが、当日は日立った混乱もなく、無事に屋外の会場で開催することができました。慰霊祭は、須川幹事長の進行により、戦没者の霊位に捧げる感謝の黙祷から開始。維持会の確井会長による式辞、来賓の才川市議からの挨拶の後、浄教寺住職による読経が始まり、焼香へと移りました。遺族会の皆様はじめ参列者各々が、しばしの間、戦没者に思いをはせ、祈り、静かな時間を過ごしました。



私自身は町内会長として今回初めて慰霊祭の準備に携わりましたが、各町内の会長を中心に、お寺や遺族会の皆様らと共に作り上げるこの慰霊祭は、同日に開催された八乙女フェスティバルと同様に、南山見の地域力を強く感じる行事だと思えました。最後になりましたが、ご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

花と緑の銀行・グリーンキーパー活動

「花と緑の銀行」ご存知ですか？

頭取 田中一昭

当銀行は、花と緑に満ちた潤いのある社会を実現するための推進母体として、富山県が昭和48年に設立しました。事業は、花と緑をはぐくむ事業、花と緑にふれあう事業、花と緑をすすめる事業の3つがあります。

南山見地区では、頭取（まとめ役）とグリーンキーパー（指導員）合わせて10名が活動しています。活動内容としては、井波小学校入口信号機角の八乙女花壇作りと整備をはじめ、児童クラブの皆さんと一緒に、交流センターのプランターの花植え・チューリップ球根植え、南砺市花と緑のフェスティバルミニ花壇づくり等です。この他に今年は、花のまちづくり南砺大会や国際木彫刻キャンプにおいて、県内外から訪れた皆さんに楽しんでもらえるように、花壇作りやプランターの設置を行いました。

活動は大変ですが、多くの方々の心の癒となり、潤いのある町づくり推進のために、これからもがんばります。



令和元年度 花と緑の銀行

南砺支店南山見頭取
田中 一昭

グリーンキーパー

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 前川 真介 | 才川美代子 | 徳成 花枝 |
| 亀田セツ子 | 銅 光枝 | 横江 清隆 |
| 池田 隆志 | 中村 外子 | 池田 啓子 |



令和元年度クリーンアップ事業 実施結果について



6月～8月にかけて、各町内会にて「南砺市市道クリーンアップ事業」を実施していただきました。これは南山見一円において、市道のごみ拾いや草刈り、土砂上げ等を行っていただく事業で、今年は延べ300名以上の方に参加していただきました。こうした活動の積み重ねにより、今後も美しく住みよい南山見を守っていきましょう。

お知らせ

今年度の「新年の美い」は、
令和2年1月5日(日)
午後3時より
南山見交流センターで
開催いたします。

要望書を提出しました

南山見地域づくり協議会まちづくり部会に提出いただいた各町内からの要望事項は、「地域づくり協議会井波連合会」の要望書に盛り込んでいただきました。この要望書を持って井波連合会の役員皆で、去る8月27日には南砺市長に、9月3日には南砺市ふるさと整備部長・建設課長・都市計画課長に直接お会いして提出してきました。その際、市議会議員の才川氏・川原氏も同行くださり、特に、才川氏は強く後押ししてくださいました。なお、10月末までには、富山県砺波土木センター長、南砺警察署長等にも提出してお願いしていく予定です。本地区からの要望事項は以下の通りです。

1 赤祖父林道・林道八乙女線の整備について

- ①路肩陥没箇所を整備してほしい。
- ②路肩の草刈りや灌木の処理をお願いしたい。
- ③山側法面の樹木処理をお願いしたい。

2 今里町内会からの依頼

- ①腐食した防火水槽取水口の鉄板を新調してほしい。
- ②傾いた道路標識を直してほしい。

3 清玄寺町内会からの依頼

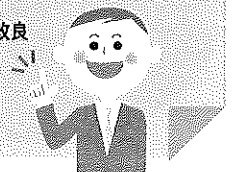
過去に家屋火災があり消化に困窮したことから、清玄寺公民館敷地内に防火水槽を設置してほしい。

4 南山見新町内会からの提案

高齢者運転免許自主返納支援事業として、現在はバス定期代・タクシー代の相当金額を助成するのみですが、電動アシスト自転車の購入等にも助成の拡大を希望します。

5 昨年度までの要望の継続等

- ①県管理河川堆積土砂の浚渫等
 - ・西大谷川上流（清玄寺・東城寺地内）
 - ・旅川（西大谷川合流三清東地内）
 - ・中江川（干谷川合流までの区間）
- ②治山事業の整備促進
 - ・沖字石伏地内法面保護工
 - ・川原毛谷流路及び谷止工
 - ・干谷川上流部流路工
 - ・林道院瀬見線法面保護工
- ③水路改修
 - ・院瀬見地内
 - 市道専勝寺院瀬見線沿い排水路改修
 - ・川原毛谷
 - 水路線形改良



大いに賑わっ! 立山に登ろう!

体力つくりレクリエーション
8月4日(日)

雄山山頂コース 散策コース



立山登山に参加して 篠原 ゆか(院瀬見)

令和元年度の体力つくりレクリエーションとして、8月4日に企画された立山登山に参加させて頂きました。36名の参加者が、散策コースと登山コースに分かれ、私を含む13名が雄山山頂を目指しました。

空は晴れ渡り、辺り一面の花々を楽しみながら、気持ちよく登山道を登っていくと、すれ違う方々が、笑顔で挨拶をしてくださり元気を頂きました。

一ノ越からは険しい岩場でしたが、登山シーズンで混んでいたおかげでゆっくり休みながら登れ、全員元気に登頂することができました。小学6年生の時以来2度目の登頂で、その時は辛かった記憶しかないのですが、今回は山頂からの景色が絶景で、辛さを忘れさせてくれる感動を味わいました。そして、雄山神社で祈禱を受け、御神酒をいただき、無事登頂できたことに感謝しました。



昼食をとったら下山し、室堂で散策コースの方々と合流して記念撮影をしました。皆さん、達成感と満足感でとても良い笑顔だったのが印象的でした。

帰路の途中、よしみね温泉で汗を流し疲れをとり、無事交流センターに到着、解散しました。

子育てによりやく少し余裕が出てきて、地区の行事にも参加できるようになってきたので、機会があればまた参加できたらと思いました。お世話してくださった、協議会スタッフや山案内人の方々、どうもありがとうございました。



散策コースに参加して 銅 光枝(連代寺)

8月4日、連日の猛暑で一時的涼を求め立山へ行って来ました。私にとっては今まで立山は登る山と思っていましたが、今回は体に合せ散策コースへ…。弥陀ヶ原では高山植物の名前や生育環境を教えてくださいました。野いちごの仲間を教わると、皆で見つけては食べてみたりして、2時間ゆっくりと心地良い汗を流しました。

その後室堂へ…。みくりが池を見ながら、立山信仰の史跡、32番の石仏に出会いました。200年以上も前に祀られた物との事、歴史を感じました。六字の名号石は、大自然の石に銘文が刻まれていました。石仏の祀は、全国の信仰者が肉親の追善供養に奉納されたものです。日本最古の山小屋は、平成7年に3年かけ復元されたとの事、昔の方々はどうやって山の上まで材料を運んだのだらうと思います。

散策しながら、道側にはワレモコウの群生やイワイチョウ、弥陀ヶ原では綿帽子になっていたチングルマが、室堂では満開に咲きこだけしかなくないピンクのチングルマも見ることができました。草ではなく木だとの発見もあり、色々な高山植物に出会いました。

雄山まで登頂された方々は今年一番の人で、登るのに時間がかかったそうです。イワイチョウが紅葉時期には一面黄色になるとのこと、見てみたいと思いながら立山を後にしました。



猛暑の中夏の行事

第42回 八乙女フェスティバル

8月15日(木)

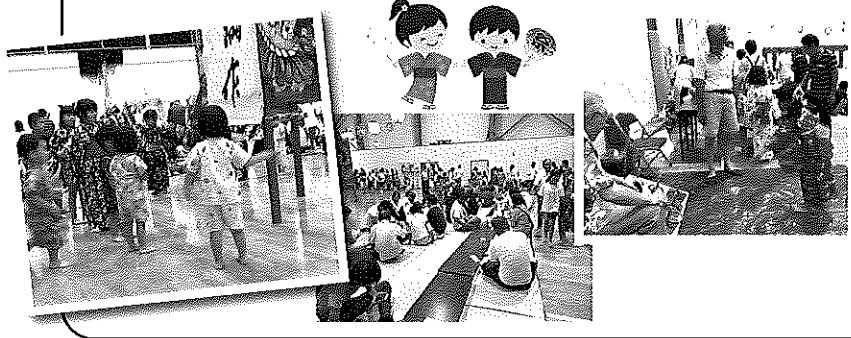
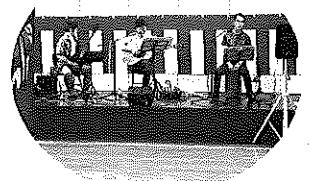
女性部 田中 照美

『恒例の』を辞書で調べると、「いつもと同じの」「お決まりの」と書いてありました。とすれば、今年は、『恒例の第42回八乙女フェスティバル』とは言えないのかもしれない。

ご存知の通り、8月上旬から台風10号が日本にゆっくりと接近し、テレビでは、台風の進路予想や各地の被害の様子を刻々と伝えていました。その台風10号が、八乙女フェスティバルに難問を突きつけたのです。フェスティバルをグラウンドですか、体育館ですのかなんて小さい問題ではありません。フェスティバルそのものを実施するかどうかの判断を迫ったのです。台風の状況、これまでの準備のこと、そして地区民の思い等をあれこれと思索し、最終的には「やれるところまで体育館でやろう!!」ということになりました。

しかし、また予想外のことが…バンド演奏「ぎたおん」のキーボード担当者が病気のため出演できなくなったのです。準備中には、体育館中央に立てた櫓が崩れるというハプニングが…。恐らく、今までも『恒例の第〇回～』といいながら、いくつものハプニングがあったことと思います。しかし、地区民の熱い思いでそれらの困難を跳ね除け、昭和・平成そして令和と3つの時代を通して続けることができたのだと思います。

今年も児童による交通安全宣言をかきわりに、八乙女フェスティバルがスタートしました。各種団体の出店から聞こえる呼び込みの声、バンドの音色、地区民同士のはずむ会話etc.『恒例の第42回八乙女フェスティバル』は、大盛況でした。



7月25日(木)

三世代交流

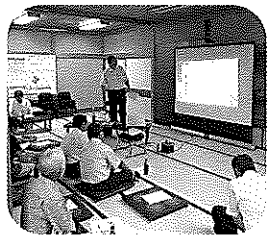
ラジオ体操の集い及び教育懇談会の開催

青少年育成南砺市民会議 南山見単位議長 堀 雅幸

七月二十五日、南山見グラウンドにて、地区恒例行事、「三世代交流ラジオ体操とミニマラソン」を実施しました。天候にも恵まれ、早朝より多数の皆さんに参加いただき、ありがとうございました。

同日午後七時から、教育懇談会を井波小学校の教頭石崎恵嗣先生を講師としてお招きし、「SNSに係る子供たちの環境と井波小学校の取り組み」という演題で開催しました。

井波小学校の児童の約半数がスマートフォンを利用し、所持率は学年が上がるほど高く、年々増加しているようです。同小では、井波っ子メディアルールによる「アウトメディアチャレンジ」等の活動の他、父母と教師の会との連携により、SNSやインターネット利用による非行や犯罪被害の防止に取り組んでいます。特に問題とされるのは、出会い系サイトやコミュニケーションサイトの利用で、個人情報流出、違法薬物、児童買春などの様々な犯罪に巻き込まれる事例があり、非行、家出、いじめ等の原因とされています。このような被害を防止するには、携帯電話会社が提供するフィルタリング機能を有効にし、ネット利用について家庭でよく話し合い、子供が安全に利用できる環境をつくるのが保護者の責任であると強く感じました。



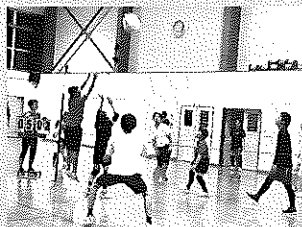
第36回ビーチボール大会

7月9日(火)、10日(水)の2日間、第36回南山見地区町内対抗ビーチボール大会が開催されました。本年は、公民館組織から地域づくり協議会への移行に伴い、毎年お盆に開催されていたソフトバレーボール大会がビーチボール大会に一本化されたため、例年に比べても、ひと際盛り上がった大会となりました。

今年は8チームが出場。初日に4チームずつ2リーグに分かれて行われた予選リーグでは、いずれの試合でも熱戦が繰り広げられた結果、里領、沖A、沖B、川原崎の4チームが決勝トーナメントに進みました。翌日の決勝トーナメントでは、さらに白熱した戦いが行われ、盤石の強さをみせた里領チームが昨年に引き続き優勝しました。

年齢要件が撤廃されるなど、大会出場のハードルは下がっておりますので、近年出場されてない町内の皆様も是非来年はご出場いただきたいと思っております。今後も各種スポーツ大会を通じ、健康増進に努めましょう。

(事務局)



ビーチボール大会成績

- 優 勝 里領
- 次 勝 沖 A
- 参 勝 沖 B
- 敢闘賞 川原崎

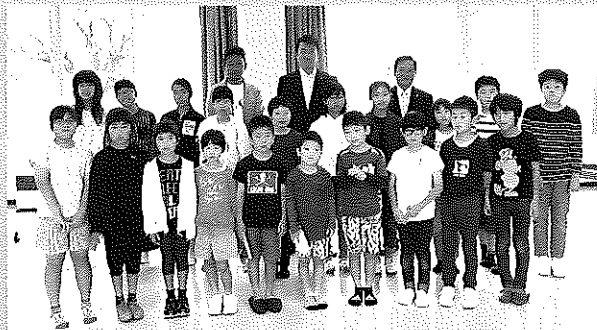


児童クラブ入会式・花壇づくりとあんどん作り



児童クラブでは、6月9日に入会式を行い、新たに1年生2名を迎えて、29名での今年度の活動をスタートいたしました。入会式の後、花壇づくりとあんどん作りを行いました。花壇づくりでは、児童たちが、「花と緑の銀行」のみなさんの指導をいただきながら、様々な種類の花の苗を手際よくきれいに植えていました。あんどん作りでは、各自が描いてきた絵柄に、ろう引き、顔料での色づけ、木枠への貼り付けといった作業を行い、個性あふれるすばらしい作品に仕上がりました。これら児童たちの作品は菖蒲まつりに展示されたほか、八乙女フェスティバルで南山見地区の皆様にも披露させていただきました。

(児童クラブ 前田 洋一)



高瀬遺跡菖蒲まつり 子供あんどんコンクール 入賞者

- 最優秀賞 須河 宥太 (小2)
- 小学校低学年の部 銅賞 高橋 佑心 (1年)
- 小学校中学年の部 銀賞 前川 來花 (3年)
- 小学校高学年の部 銅賞 須河 郁心 (6年)

安全・防災部会

南砺市交通安全協会井波支部

南山見分会長

久恵博明

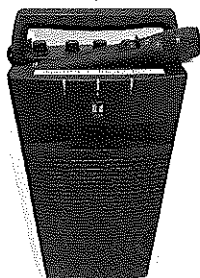
毎年、八月十五日の八乙女フェスティバルの始まりに、南山見地区の六年生による交通安全宣言があります。小学生のこの宣言を秘め、交通事故の無い住み良い街づくりに努めていきたいものです。

次に、秋の交通安全運動期間中の九月二十七日に行われる、「シートベルト新米け」キャンペーンのお話です。

南砺警察署や井波幹部交番の警察官の方々には交通整理のご協力を、そして南砺市交通安全協会、地区社会福祉協議会、各種ボランティアの方々にはマスコットや袋詰めコシヒカリを自動車運転手に配布してもらって交通安全を呼びかけています。

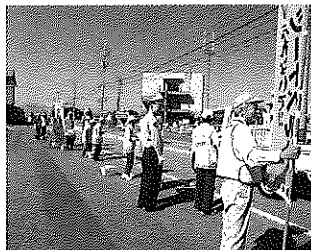
毎年全国で交通事故死亡者が五千人弱という状況の改善につながればと願っています。

備品購入
ハンドマイク
スピーカー



防災会用備品

お知らせ
避難訓練
10月27日(日)
午前8時～
南山見交流センター



9月15日(日)

敬老の集い



稲穂が黄金のようにまぶしく輝き、今年も豊作が期待されるような秋晴れの暑い日に、南山見地区の敬老の集いが南山見交流センター体育館で盛大に開催されました。

今年度は地区の招待者二百五十名に、地区社協より招待状が案内され、出席者は六十九名でした。午後二時より第二十八回敬老の集いが開催され、松井地区社協会長が開会の挨拶を述べられました。令和元年に米寿を迎えられた方は五名で、当日は三名の皆様にお祝い状が確井地域づくり協議会会長より贈呈されました。続いて、南砺市市議会議員才川様、南山見地域づくり協議会会長確井様より祝辞をいただき、来賓の方々とお祝いの記念撮影をいたしました。

講演は南砺市民病院院長清水幸裕氏より「歳をとっても健康的な生活を送るために必要なこと」を演題に、副題を「健康寿命延伸にむけて」としてお話しされ、運動・食事と同様に健康にとって重要なのは良質な睡眠です、と強調された内容の濃い講演でした。

アトラクションとして、にじいろ保育園年長組、年中組のかわいい園児による歌、お遊戯で雰囲気が高なごやかに、楽しませていただきました。また、地域で活動しておられるなでしこ会の皆様にあでやかに舞踊を演じていただき、ゆつくりと楽しい雰囲気の中で満喫できました。最後に篠原副会長が開会の挨拶をされ、楽しい一日となりました。

(南山見地区社会福祉協議会)



祝米寿

おめでとうございます

- 高橋 信行様 (院瀬見)
- 長田 初枝様 (院瀬見)
- 須川 恵美子様 (東城寺)
- 林 榮三様 (東城寺)
- 田村 九美彦様 (戸板)

老人クラブ

環境美化活動

老人クラブは南山見地区の美化活動の一環として七月二十日(土)に交流センター周辺の草刈りを実施しました。

早朝から、各地区のクラブ員が草刈り機や鎌、ほうき等を持ち寄り作業をしました。

今年度は好天続きで、雑草が多い状況でしたが、約一時間程度できれいに完了しました。

農村公園やグラウンド、花壇の周辺がすっきりとなり、地区の皆様にご喜ばれております。

今後もこのような活動を通じて地域に根ざしたクラブにしていきたいと思っております。

(老人クラブ 蓮田松夫)



第三十四回全国一斉社会奉仕の日

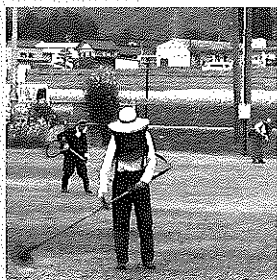
南山見老人クラブでは、恒例の社会奉仕の日として、九月二十一日(土) 早朝五時三十分より、南山見交流センター周辺の清掃活動を実施しました。

今年度は台風十七号の影響で曇空の薄暗い中、指定した時刻よりも早く会員各位に順次集まっていた作業が始まりました。

総勢四十三名の参加の下、グラウンドの草刈りや、花壇の中の草むしりを行う方等、テキパキと作業をされ最後には竹ぼうきで掃き掃除を行いました。

早朝からご協力いただいた会員各位には、心より感謝申し上げます。今後も、地域に根ざした老人クラブ活動を目指して行きますので、一層のご協力をお願い致します。

(老人クラブ 小橋昭夫)



高齢者学級の開催

八月二十四日に第二回「高齢者学級」を開催いたしました。参加数は三十七名でした。

浄教寺の高瀬正氏を講師にお招きし、「樹木希林さんの生き方」と題して講演をいただきました。

昨年の九月に亡くなられた女優の樹木希林さんのエピソード「網膜剥離」で左目失明、「乳がん発症」さらに「全身がガン」という苦況にあっても考え方ひとつでその人の人生が有意義なものに。

樹木希林さんの様な生き方

◎物事を面白くもたらえて愉快に

◎あんまり欲張らないで

◎へこたれないで

その生き方、考え方について、興味深いお話でした。

(老人クラブ 蓮田松夫)



南山見の商工業の歴史 シリーズ その1

篠原商店

篠原商店を始めるきっかけは、父が若くして病死し、収入もなくなったことで、母が農業をしなくてはならず、農業との兼業を考えたとことです。遠い親戚の人が豆腐店をしておられると、祖父が母に話したことにより、母が習いに行つて豆腐店を始めました。

納屋が町道沿いにあったので改造して店にしました。昭和三十年頃だったと思います。母は四時頃から起きて、前の日から水につけておいた大豆を機械でつぶして豆腐にし、冷やしてブリキの容器に入れて売っていました。鍋持参で買いに来られる人も多くありました。その後、油あげ、焼豆腐も製造販売するようになりました。

豆腐店を初めた頃はよく売れました。田んぼの見回りに来られた方等は、我家は山の風が入つてきて涼しいので、奴豆腐でお昼を食べて行かれる方もありました。その後、菓子や雑貨も売るようにしました。菓子はビンに入れておき、お客さんの注文によりビンから出して手渡しの販売でしたが、コンビニのような、自分で商品を持つてきて精算できるように改築しました。その当時は書き付けが多く、盆、暮れの支払いが殆んどでした。タバコの販売もし今では懐かしいわかばやエコー、しんせいやキセルで飲むきざみタバコもありました。また、郵便・クリーニング・宅急便の取次ぎも始めました。

しかし、大型スーパーやコンビニもあちこちにできて、いろんな商品がだんだんと売れなくなり、廃業も考えなくてはならなくなつてきています。店を始めて六十年余りになりますが、地域の皆さんに支えられてここまでやってこれたと感謝しています。

(篠原 明美)



成年部環境美化活動

6月16日(日)に成年部は、南山見交流センター一周辺の環境美化活動として、草刈、江浚いを行いました。今年は連日の雨の影響なのか、雑草が思いの外多く生えていたようでした。参加、協力して頂いた会員の皆様に、感謝と御礼を申し上げます。今後とも成年部の活動にご参加、ご協力をお願い致します。

(成年部 山本 大輔)



おねがい

第42回地区八乙女文化祭の舞台発表の出演者及び展示作品を募っています。参加希望の方は、お早めに事務局までご連絡をお願いいたします。

また、農産物品評会への出品もお待ちしております。



今後の予定

- ◎十月二十七日(日) 避難訓練 花壇作り
- ◎十一月十日(日) 第四十二回地区八乙女文化祭
- ◎十二月八日(日) 児童クラブクリスマスマスの集い
- ◎令和二年一月四日(土) 南砺市消防出初式
- ◎令和二年一月五日(日) 新年の集い
- ◎令和二年一月十二日(日) 南砺市井波地域成人式
- ◎令和二年二月九日(日) 第三十一回三代交流の集い
- ◎令和二年二月中旬 八乙女講座

編集後記

秋の天気は気まぐれである。令和元年の地区体育祭を行うに当たり、執行部はかなり気をもんだであろう。各気象予報社の降雨予想にも違いがあり、屋内か屋外開催か決断を迫られ、ご苦労があったと思われる。幸い、黒い雲が近くまで来たが降雨は無く、無事に競技が進んだ事は神の御恵みか。我が組は奮闘するも最下位に沈み、来年は上昇あるのみである。町内で行った反省会では意外とあっけらかんとしており、最下位もまた楽しである。一同お疲れ様でした。 Y. Y